

第 68 回 全日本中学校通信陸上競技大会 北海道札幌大会要項

兼第 49 回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会 兼国民体育大会陸上競技北海道代表選手選考会

1. 主旨 各都道府県で実施される本大会の記録を集計し、種目ごとに全国順位を付ける通信競技大会とすることで、より多くの中学生に陸上競技の楽しさや、目標に向かって取り組むことの重要性を学ぶ機会とする。
2. 主催 日本陸上競技連盟 日本中学校体育連盟 北海道陸上競技協会 北海道中学校体育連盟
3. 主管 札幌陸上競技協会 札幌市中学校体育連盟
4. 後援 北海道教育委員会 NHK
5. 期日 令和 4 年 6 月 18 日 (土)・6 月 19 日 (日)
6. 会場 札幌市厚別公園競技場 札幌市厚別区上野幌 3 条 1 丁目 TEL 011-894-1144
7. 大会に適用する競技規定
本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。
トラック競技は写真判定とし、風力計測については、デジタル風速計を使用する。
8. 表彰 各種目 8 位までに賞状を授与する。**表彰式は行わない。**各学校の引率者を通じてもらうこと。
全国ランキングについては公式 web サイトにて記録証・参加認定証をダウンロードできるようにする。
9. 参加料 1 人 1 種目 **1,500**円 1 人 2 種目 **2,000**円 リレー 1 チーム **2,100**円
※自然災害、事件、事故及び疫病等により、大会が中止となった場合の参加料は返金しません。但し、一定期間事前に中止が決定された場合には、参加料の全額又は一部を返金することがあります。
10. 競技種目
 - ・男子 (16 種目)
 - <学 年 別> 1 年 100m、1 年 1500m、2 年 100m、3 年 100m
 - <全学年共通> 200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH(高さ 0.914m ハードル間 9.14m)、4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投(5.000kg)
四種競技 (①110mH【高さ 0.914m ハードル間 9.14m】 ②砲丸投【4.000kg】 ③走高跳 ④400m)
 - ・女子 (12 種目)
 - <学 年 別> 1 年 100m、2 年 100m、3 年 100m
 - <全学年共通> 200m、800m、1500m、100mH(高さ 0.762m ハードル間 8.00m)、4×100mR
走高跳、走幅跳、砲丸投(2.721kg)
四種競技 (①100mH【高さ 0.762m ハードル間 8.00m】 ②走高跳 ③砲丸投【2.721kg】 ④200m)
11. 参加資格
 - ①日本陸上競技連盟に登録している者。
 - ②学校教育法で定める中学校で、平成 19 年 4 月 2 日以降に出生した生徒であること。また、北海道中学校体育連盟に加盟する札幌市内の中学校の生徒で、学校長が参加を認めた者。
 - ③学年種目については、1 年生は平成 21 年 4 月 2 日、2 年生は平成 20 年 4 月 2 日以降に出生した者で過年齢については、在籍学年の種目に出場することができる。
<全国中学校体育大会に参加を認める「参加資格の特例」>
 - ④学校教育法 134 条の各種学校 (1 条校以外) に在籍し、北海道中学校体育連盟の予選大会に参加を認められた生徒であること。

⑤参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。

ア. 全国大会の参加を認める条件

- ・(公財) 日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ・生徒の学齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
- ・参加を希望する学校にあたっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員のもとに適切に行われていること。

イ. 全国大会に参加した場合守るべき条件

- ・全国大会の開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ・全国大会の参加に際しては、責任ある当該学校長または教員が生徒を引率すること。
また、万一の事故の発生に備え、傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ・大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

⑥参加者は、大会運営上必要なプログラム、ホームページ、掲示板、報道発表、大会結果記録速報への氏名・所属・学年の記載について了承するものとする。

⑦本大会終了後、アスリートランキングおよび札幌陸上競技協会ホームページにて、個人名・所属・記録を掲載するため、これを了承する者（個人情報については、本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。）

12. 参加制限

①**1人2種目以内**（リレーを除く）とする。

②**各種目1校2名以内**とする。

※今年度については、例年設定している特別枠（参加標準記録突破者など）は設けない。

③学年別種目は、前11項の③の年齢区分の者しか出場できない。

④共通種目は、全学年共通とする。

⑤リレーは、1校1チームとする。

13. 申込方法

①アスリートランキング (<http://athleteranking.com/>) よりエントリー（申込）を行ってください。

②エントリーには、割り当てのIDが必要です。また所属団体（各中学校）に割り当てられている今年度のアスリートビブスのナンバー入力が必要です。

※IDの割り当てのない参加希望者は所属団体代表者を通してメール (link@plum.ocn.ne.jp) で問い合わせをし、IDを取得してください。

※今年度の割り当てナンバーについて、中学校は中体連の割り当てナンバーです。クラブチームでのナンバーで申し込まないようご注意ください。新規アスリートビブスは各学校で準備してください。また、アスリートビブスは各自決められた大きさで作成してください。（縦16cm×横24cm）

③エントリーの時、必ず大会での**公認記録**を入力してください。（**リレーも忘れずに**入力してください。）札幌以外の場所でベスト記録がある場合は、記録を手入力した後、登録ボタンを押すことで記録が更新されます。

④選手のエントリーと併せて『審判登録』と『引率者』（合計3名まで）を必ずアスリートランキングの審判登録の欄に入力してください。

⑤初めて出場する選手は「選手登録」をしてください。

14. 申込期日

令和4年6月3日（金）までに入力を済ませてください。

※締切日を過ぎるとエントリーは一切できません。

※締切日までに入力したデータでエントリー完了と見なします。

※アスリートランキングにエントリー完了の通知機能はありません。

※**大会参加料は6月3日（金）までに、下記の口座に振り込みをお願いします。**

※**大会参加料の振り込みが確認された時点で申込が完了する。連絡なく期限までに振り込まれない場合は申込をキャンセル扱いとする。振込が遅れる場合は事前に連絡をする。**

振込先口座

北海道銀行 白石支店 (店番号 156) 普通 1416725
陸上競技大会 実行委員長 熊谷 圭悟
リクジヨウキョウギタカイジツコウインチョウクマガイケイゴ

<振込の際の注意事項>

- ①振込の「依頼人名」は必ず学校名(略称)とすること。
- ②振込手数料は、参加する学校の負担とする。
- ③領収書は、大会当日に発行する。
- ④金額に誤りがないか必ず確認すること。
- ⑤送金連絡票の書式に従い、「中体連負担金」と「JAAF登録料」を合算して振り込むこと。

15. その他

- ①本大会は、第49回全日本中学校陸上競技選手権大会、第53回北海道中学校陸上競技大会標準記録突破大会を兼ねる。
- ②別紙に定める第49回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録を突破した者(公認記録)は、その大会に出場する資格を有する。
- ③本大会の3年生参加種目については、国民体育大会(少年B・少年共通種目)の選考会を兼ねる。
- ④プログラムは、当日朝受付で配付します。
- ⑤エントリー完了後、「申込一覧表」をプリントアウトし、プログラムとの確認をお願いします。
- ⑥参加者は、万一の事故の場合、責任を持ってませんので、傷害保険に加入しておいてください。
- ⑦本大会の要項と総括申込書、タイムテーブル等は、札幌陸上競技協会HPとアスリートランキングの本大会ページに掲載します。
- ⑧札幌陸上競技協会主催のため、参加される所属団体の引率者は2022年度の審判登録が必要です。引率者の審判登録がなされていない場合は、大会に参加することができません。審判をしていただいた方には、昼食と交通費を支給します。
- ⑨アスリートビブス(大きさ縦16cm×横24cm)および腰ナンバー標識は、各学校、個人で準備してください。ただし、中長距離種目の10レーン以降の腰ナンバー標識は主催者側で用意します。なお、男子100m、200m、110mH、女子100m、200m、100mHに出場する選手は、逆走が予想されるため、腰ナンバー標識を左右2枚使用することになるので準備をしてください。
- ⑩不正スタートは、混成競技を除いて一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、全て失格とする。
- ⑪男子400m、男子800m、女子800mは、予選(タイムレース)・決勝の2ラウンドとし、決勝には、16名進出とし、タイム順に2組で実施する。A決勝は、通信大会順位決定戦、B決勝は、9~16位決定戦とする。男子1500m、男子3000m、女子1500mは、タイムレース決勝とし、番組編成は、申込時のタイム順に行う。よって、申込時には、忘れずに『公認のベスト記録』を入力すること。申し込み終了後に入力忘れによる番組編成の変更は行わない。また、1500m、3000mで周回遅れとなった選手は、競技を中止させることもあり得る。
- ⑫フィールド種目の予選通過ライン(走幅跳)及び最初の高さ(走高跳・棒高跳)は以下のとおりである。(当日、変更する場合があります)

最初の高さ			予選通過ライン	最初の高さ(四種競技)	
	走高跳	棒高跳	走幅跳		走高跳
男子	1m41cm	2m00cm	5m70cm	男子	1m25cm
女子	1m20cm	-	4m65cm	女子	1m10cm

- ⑬走幅跳と砲丸投における計測ラインは以下のとおりである。

	走幅跳	砲丸投
男子	4m00cm	6m00cm
女子	3m00cm	6m00cm

- ⑭今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、ラウンド数や試技数を減らすこともあり得る。
- ⑮スパイクのピンの長さは、走高跳は12mm以下、その他は9mm以下とする。
- ⑯シューズについては、WA規則TR5.2の通りとする。

- ⑰商標などの規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規定」に遵守する。
- (1)上半身の衣類（シャツ・レオタード）製造会社名：ロゴは、1ヶ所表示することができる。表示の文字の高さ4cm以内、全てのロゴの高さは5cm以内で、30㎢以内の長方形とする。
- (2)下半身の衣類（ショーツ・タイツ）製造会社名：ロゴは、1ヶ所表示することができる。表示の文字の高さ4cm以内、20㎢以内とする。
- (3)バック 製造会社名：ロゴは、2ヶ所表示することができる。表示は25㎢以内とする。
- ⑱競技中に発生した損害疾病については、応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑲大会主催者は、競技会にかかわる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- ⑳審判員の方は第一駐車場をご利用ください。その際、駐車証または審判手帳のご提示が必要となります。

16. 新型コロナウイルス感染拡大予防について

- ①札幌市中体連が策定する「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を遵守すること。
- ②監督は「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」について来場者全員に指導すること。
- ③選手、競技役員、引率者に対し、「健康管理チェックシート」の提出は原則求めない。
- ④監督は所属する来場者全ての健康状態を確認し、学校ごとに「健康状態報告書（別紙1）」に必要事項を記入して日ごとに大会本部に提出すること。
- ⑤保護者は大会参加に同意し、所定の「参加同意書」に署名・捺印し、学校に提出すること。
- ⑥競技役員は「来場者体調管理記録表（別紙2）」に必要事項を記入し、日ごとに提出すること。但し、引率者を兼ねる場合、提出の必要はない。
- ⑦競技役員及び来場する保護者は「健康管理表（別紙3）」と「行動履歴書（別紙4）」を大会前後2週間、毎日記録すること（提出は求めない）。但し、引率者を兼ねる競技役員は記録の必要はない。
- ⑧各学校引率者は所属選手の健康状態の把握に努め、異常がある場合は直ちに対応し、主催者に報告すること。（主催者の指定する待機場所を利用すること）
- ⑨体調がよくない場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ⑩同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ⑪過去14日以内に政府から入国制限、入国後の監察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触者がある場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ⑫マスクを持参すること。（運動時以外はマスクを着用すること）
- ⑬引率者は、選手が競技場に滞在する時間が短くなるように配慮すること。
- ⑭選手は、引率者の指示に従い、終了後は速やかに帰宅するように努めること。
- ⑮大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑯感染予防のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

17. 保護者の応援による来場について

- ①本大会では、「保護者入場票」を持参する保護者のみ観戦を可能とする。
- ②応援による来場を希望する保護者は、選手を通じて各校の監督に申し出ること。
- ③各校の監督は、来場する保護者を把握すること。
- ④「保護者入場票」は、所属する学校の監督から来場を希望する保護者に配付すること。
- ⑤来場する保護者は、別紙「保護者の観戦について」の内容を遵守すること。
- ⑥来場する保護者は、別紙「保護者入場票」に必要事項を記入し、入場時に担当役員に提出すること。
- ⑦応援による来場は、各家庭から1名までとする（選手複数の場合も1名とする）。なお、乳幼児の帯同については保護者の責任において認める。
- ⑧保護者以外は感染拡大予防の観点から来場を控えること。
- ⑨「保護者入場票」の当日配付、現地配付は行わないため、来場を希望する保護者は必ず事前に所属する学校から入手すること。
- ⑩保護者の応援による入場は8：30以降とする。

18. 問い合わせ先

(一財) 札幌陸上競技協会ホームページ <http://jaaf-sapporo.jp>

(一財) 札幌陸上競技協会 大会事務局 札幌市中央区中島公園1番5号札幌市中島体育センター内

TEL&FAX 011-532-2471 e-mail s_rikujou@k3.dion.ne.jp